

主要事業の概要

は23年度新規事業
括弧内は予算書掲載ページ

1 総務費

(1)世界遺産登録推進(P.139) 969万円

(世界遺産登録推進担当)

フランス人建築家ル・コルビュジエが日本で唯一設計した国立西洋美術館を世界遺産に登録するための推進事業を展開する。

平成23年6月、中東のバーレーン王国で開催される第35回世界遺産委員会にて、国立西洋美術館が東京都で初の世界文化遺産として登録されることにより、文化の薫る台東区の魅力を国内外へ広く発信していくことになる。

このため、平成23年度は、登録実現に向けたまちの気運を高めていくため、区内で開催されるイベントでのPR活動や、区民講座の開催、専用ホームページなどを活用した情報発信などを推進する。

(2)旧東京北部小包集中局跡地活用検討(P.147) 300万円

(企画課)

平成22年3月に取得した旧東京北部小包集中局跡地の本格活用については、長期総合計画等、区の諸計画はもとより、東京スカイツリー開業後の状況、また、民間活力の導入の可能性など、様々な観点から検討を進めていく必要がある。

そこで、平成23年度は、本格活用検討の基礎資料とするた

めの調査を実施する。

(3) 安全で安心して住める建築物等への助成 (P.149)

4,895万円

(建築課)

緊急輸送道路沿道建築物は、災害時における多数の人の避難、救急・消防活動の実施、避難者への緊急物資の輸送の確保を図る上で耐震化が急務である。このため、区では、これまでの住宅等の耐震化助成制度に加え、新たに緊急輸送道路沿道建築物等への助成制度を整備し耐震化へ誘導することにより、災害に強いまちづくりを実現する。

新たな助成制度

緊急輸送道路沿道建築物

助成対象

昭和56年以前の緊急輸送道路沿道建築物で、地震により倒壊した場合にその道路の通行を妨げ、多数の者の円滑な避難を困難とするおそれのある建築物の耐震診断・補強設計・耐震改修等に要する費用

助成金額

耐震診断

・ 第一次緊急輸送道路

診断にかかった費用の2 / 3

(限度額 200万円)

・ その他

診断にかかった費用の1 / 2

(限度額 2 0 0 万円)

ただし 1 , 0 0 0 m²以内 1 0 0 万円)

補強設計

- ・ 第一次緊急輸送道路

補強設計にかかった費用の 2 / 3

(限度額 2 0 0 万円)

- ・ その他

補強設計にかかった費用の 1 / 2

(限度額 2 0 0 万円)

ただし 1 , 0 0 0 m²以内 1 0 0 万円)

耐震改修

- ・ 第一次緊急輸送道路

耐震改修にかかった費用の 2 / 3

(限度額 2 , 0 0 0 万円)

- ・ その他

耐震診断にかかった費用の 1 / 2

(限度額 1 , 5 0 0 万円)

ただし 1 , 0 0 0 m²以内 2 5 0 万円)

特定建築物

助成対象

多数の者が利用するホテル・事務所・店舗・飲食店等で、3階以上、1,000m²以上の建築物等の特定建築物の耐震診断に要する費用

助成金額

耐震診断

診断にかかった費用の 1 / 2

(限度額 1 0 0 万円)

事業期間 平成 2 3 年度 ~ 平成 2 7 年度

(4) (仮称) 谷中防災・コミュニティ施設の整備 (P.177)

2,083万円

(区民課)

平成22年度に作成された基本計画に基づき、基本設計及び地盤調査を行い、「(仮称) 谷中防災・コミュニティ施設」の整備を進める。

敷地面積 2,140 m²(予定)

延床面積 2,850 m²(予定)

建物規模 地上3階建て

スケジュール 平成23年度 基本設計・地盤調査

平成24年度 実施設計・工事着工

平成25年度 建設工事

2 民生費

(5) 特別養護老人ホーム「千束」・せんぞくデイホーム

(P.187、P.188)

特別養護老人ホーム 4,030万円

デイホーム 610万円

(高齢福祉課)

老人保健施設千束が台東病院内に移転した後の施設活用として、千束保健福祉センター内に地域密着型特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターを開設する。

指定管理者である社会福祉法人台東区社会福祉事業団が、特別養護老人ホーム浅草及びあさくさ高齢者在宅サービスセンターのサテライト施設として管理運営を行う。

地域密着型特別養護老人ホーム 入所定員 29名

ショートステイ 定員 2名

高齢者在宅サービスセンター（認知症対応型）

定員 24名

所在地 千束3丁目28番13号

(6) 身体障害者生活ホーム「フロム千束」運営 (P.192)

6,714万円

(障害福祉課)

地域で自立生活を希望する障害者のニーズに応えるため、千束保健福祉センター内の身体障害者生活ホーム「フロム千束」を、定員7名から11名に増員する。

対象者

台東区在住の身体障害者で、現在、就労または通所しており、日常生活上の援助を必要とする方

事業内容

入居事業（定員5名 9名）

自立生活体験事業（定員2名 変更なし）

在宅の身体障害者を1ヶ月単位で入居させる事業

(7)こども療育（松が谷福祉会館）(P.195) 3,403万円

(障害福祉課)

乳幼児健診などで早期発見された心身の発達の遅れや、その心配のある子どもに対して、専門家が早期療育を行っている。

近年、発達障害に対する認識が広まり、子どもの社会生活への適応能力の向上を図ろうと早期からの療育を希望する保護者が増化している。

そのニーズに応えるため、定期的な療育を行う「児童デイサービス」の受入枠を拡充して、早期療育の充実を図る。

内容

拡充人数：児童デイサービス 32名増

(受入可能数を現行の100名から132名に拡充)

職員体制：臨床発達心理士1名、保育士3名増員

活動スペース：グループ指導室、個別指導室などを増設するための改修工事を実施

拡充時期：平成23年10月(予定)

(8) 生活保護 (P.205)

202億4,350万円

(保護課)

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。

3 衛生費

(9) ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン接種費助成 (P.222)

2,828万円

(保健サービス課)

ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン接種費用を全額助成することにより、小児の細菌性髄膜炎の発症を予防するとともに、子育て世代の経済的負担を緩和する。

助成対象者	生後2か月から5歳未満の子ども
助成金額	全額(自己負担なし)
実施期間	平成23年4月～平成24年3月
実施医療機関	区内協力医療機関

(10) 子宮頸がん予防ワクチン接種費助成 (P.222)

2,896万円

(保健サービス課)

中学1年生から高校1年生に対するワクチン接種費用を全額助成することにより、子宮頸がんの発症を予防するとともに、子育て世代の経済的負担を緩和する。

助成対象者 平成23年度中学1年生(13歳相当)から
高校1年生(16歳相当)までの女子
助成金額 全額(自己負担なし)
実施期間 平成23年4月~平成24年3月
実施医療機関 区内協力医療機関

(11)乳児家庭全戸訪問(P.225) 1,092万円
(保健サービス課)

保健師及び訪問指導員(助産師)が、生後4か月を迎えるまでのすべての乳児のいる家庭を訪問し、母子の健康状態や養育環境の把握を行うことにより、育児不安や産後うつ状態の軽減・解消を図る。また、地域の育児情報を伝えることにより、子育ての孤立化を防ぎ、虐待予防の推進につなげる。

訪問対象 平成23年4月1日以降に出生した
乳児のいる家庭
訪問予定件数 延べ2,100件

(12)緑の基本計画策定(P.233) 610万円
(環境課)

平成22年度に実施した「緑の実態調査」の結果を踏まえ、地球温暖化・ヒートアイランド対策等の様々な視点から効果的な緑化を推進するため、新たな目標設定と重点施策を盛り込んだ「台東区緑の基本計画」を策定する。

計画期間 平成24年度~平成33年度(10年間)

4 文化観光費

(13) 区長賞創設30周年記念台東区コレクション展 (P.243)

940万円

(文化振興課)

台東区では昭和56年度から東京藝術大学の優秀な卒業作品の制作者に台東区長賞を贈呈し、若手芸術家の育成を支援してきた。その作品数は70点以上となり、本区の貴重なコレクションとなっている。平成23年度は、区長賞創設30周年にあたり、これを機に区民をはじめ多くの方々に作品を鑑賞していただくため、東京藝術大学の協力を得て展覧会を実施する。

展覧会名 区長賞創設30周年記念台東区コレクション
展

会場 東京藝術大学大学美術館3階展示室

会期 7月5日(火)～8月21日(日)

展示内容 区長賞受賞作品72点など

(14) G T S (藝大・台東・墨田) 観光アートプロジェクト (P.244)

1,101万円

(文化振興課)

東京藝術大学との連携による地域型アートプロジェクトを3年計画で実施する。東京スカイツリーと浅草を結ぶ地域に芸術作品を設置するなど、観光の視点を採り入れた様々なプロジェクトを展開する。本事業を通じて、芸術文化の振興を図るとともに、国際観光都市としての魅力を発信する。

時期 平成22年4月～平成25年3月

場所 台東区、墨田区内各所、東京藝術大学

主催 台東区、墨田区、東京藝術大学による実行委員会

(15)映画祭の開催・演劇祭の開催 (P.250)

映画祭 5,480万円

演劇祭 1,990万円

(観光課)

大衆芸能発祥の地・台東区から、地域と協働で下町の活気あふれる「映画祭」と「演劇祭」を開催し、世界を明るく元気づけるような「にぎわい」を創出するとともに、日本を代表する「文化・芸術のまち」台東区の魅力を世界に強くアピールする。

【第4回したまちコメディ映画祭 in 台東】

主催 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会

時期 平成23年9月開催

会場 (上野地区) 不忍池水上音楽堂ほか

(浅草地区) 浅草公会堂ほか

事業内容 (詳細は未定)

邦画・洋画のコメディ映画(新作・旧作)の上映

映画出演者・制作関係者等参加イベント

地元商店会等とのタイアップイベント

【第2回したまち演劇祭 in 台東】

主催 「したまち演劇祭」実行委員会

時期 平成23年8月～9月開催

会場 不忍池水上音楽堂 雷5656会館
木馬亭 浅草見番 東洋館
浅草花やしき ほか

事業内容（詳細は未定）

演劇団体による公演

ワークショップの開催

地元商店会等とのタイアップイベント

(16)東京スカイツリー開業 台東区記念（P.251） 100万円

（にぎわい計画課）

平成24年春の東京スカイツリー開業は、本区の観光や産業振興の一大好機である。

そこで、区内全域で祝賀ムードを盛り上げるとともに、開業記念事業を効果的に実施するため、官民一体となった実行委員会を設置し、これまで区が進めてきた各種事業を踏まえ、にぎわいの創出や回遊性の向上、地域連携が図られるよう、記念事業の実施に向けた検討を進める。

実行委員会設置 平成23年5月

平成23年度 事業計画策定・イベント等の実施

平成24年度 開業記念事業実施

(17)浅草文化観光センターの整備（P.252）

9億8,274万円

（観光課）

東京スカイツリー開業などによる観光需要を視野に入れ

るとともに、国際観光都市として相応しい機能を強化し、観光客の利便性や回遊性の向上を図るため、同センターの改築を行う。

平成23年度は開設に向けて、建物本体等工事、展示制作、物品購入等を行う。

所在地 雷門2丁目18番

新センター開設時期 平成23年12月予定

5 産業経済費

(18) 産業振興プランの策定 (P.256)

630万円

(にぎわい計画課)

景気の低迷、経済のグローバル化、産業構造の変化など、本区の産業を取り巻く社会経済状況は大きく変化している。

こうした状況に適切に対応するため、本区の産業振興施策の方向性を示し、具体的かつ効果的な事業実施を図ることを目的に同プランを策定する。

計画期間 平成24年度～28年度

6 土木費

(19)電線類地中化モデル実施 (P.269) 5,129万円

(土木課)

モデル事業路線を対象として電線共同溝を整備することによって、道路上の電線とそれを支持する電柱を撤去し、良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、都市防災機能の強化を図る。

本事業は「浅草地域まちづくり総合ビジョン」における“賑わい創出プロジェクト”に位置付けられているかっぱ橋本通り（国際通り～かっぱ橋道具街通り）及び馬道通り（江戸通り～言問通り）において実施している。

平成23年度は、上記箇所において引き続き詳細設計、試験掘調査を実施していく。

実施内容 詳細設計、試験掘調査

実施箇所

かっぱ橋本通り（国際通り～かっぱ橋道具街通り）

（平成21年度から実施）

馬道通り（江戸通り～言問通り）

（平成22年度から実施）

(20)凌雲橋エレベーター等整備 (P.269) 1,218万円

(地区整備課)

JR 鶯谷駅南口から根岸方面に至る凌雲橋には、歩行者の経路は階段しかなく、エレベーターの設置が課題となってい

る。

平成 22 年度の調査で、エレベーターの設置が技術的に可能であるという結果を得たことから、早期のエレベーター整備をめざし、平成 23 年 1 月より設計作業に着手する。

整備箇所	根岸 1 丁目 1 番地先
平成 23 年度の作業予定	基本設計・詳細設計

(21) 緑と水辺を活かす隅田公園づくり (園地整備) (P.277)

1 億 4,240 万円

(公園課)

隅田公園は、「浅草地域まちづくり総合ビジョン」や「台東区新観光ビジョン」の“緑と水辺を活かす隅田公園づくり”の方針に基づき、隅田川と東京スカイツリーを望む水辺空間と良好な眺望を活用して、やすらぎ、うるおい、にぎわいのある公園整備を推進する。

対象箇所	区立隅田公園 (桜橋を含む)
所在地	花川戸 1 丁目 1 番 ~ 今戸 1 丁目 1 番
事業概要	

花の名所づくりの推進

隅田公園 B ゾーン (東武鉄橋から言問橋周辺) 整備工事

隅田公園 A ゾーン (築山周辺) 整備実施設計

(22) 景観まちづくり推進 (P.281)

1,308 万円

(まちづくり推進課)

現在、台東区では、自主条例に基づいた事前協議や景観協

定など地域特性を活かした景観まちづくりを推進している。
平成23年度は、景観法が定める景観行政団体に移行し景観
計画の策定を行うとともに、まちなみ風情を活かした景観基
礎調査を実施し、台東区らしい景観創出に一層努める。

(23) 密集住宅市街地整備促進 (P.281) 2億5,630万円

(地区整備課)

老朽木造住宅が密集している地域を事業地区に指定し、防
災区画道路やポケットパーク等の公共施設の整備を行う。ま
た、事業の施行に伴う住宅困窮者の生活再建を目的とした従
前居住者用賃貸住宅の建設等について、全国に先駆けて独立
行政法人都市再生機構に要請しており、平成23年度に従前
居住者の入居を予定している。

事業地区 谷中2・3・5丁目地区 (28.7ha)

 根岸3・4・5丁目地区 (33.2ha)

事業期間 平成14年度～平成23年度

(今年度、平成26年度までの事業延伸の
手続きを行う)

平成23年度の作業予定

谷中地区

道路整備に向けた関係権利者等調整

根岸地区

道路新設(行止まり道路の解消、電線類地中化)及び

ポケットパーク整備に着手

7 教育費

(24)千束保育園等大規模改修 (P.317、 P.318、 P.319)

3 億 2 0 4 万円

(児童保育課)

施設が老朽化している千束保育園 (児童館及びこどもクラブ併設、昭和 4 4 年築) の耐震補強工事を行うとともに大規模改修工事を実施する。

なお、改修に合わせて、保育所定員を拡大する。

所在地 千束 3 丁目 2 0 番 6 号

施設概要

千束保育園 1 ~ 2 階

千束児童館・千束こどもクラブ 3 ~ 4 階

延床面積 1 , 1 8 8 m²

スケジュール 平成 2 3 年度 大規模改修工事

平成 2 4 年 3 月 竣工予定

(25)図書館情報システム (P.328)

3 , 4 8 0 万円

(中央図書館)

貸出・返却手続きのセルフ化及びカウンター混雑解消など利用者の利便性向上と図書館サービスの充実を図るため、I C タグシステムを導入する。

平成 2 3 年度の稼動に向け、区内の公共図書館および関連施設の図書資料等に I C タグを貼付し、新たな蔵書管理の運用を行う。また、C D ・ D V D 等の視聴覚資料の管理は、セキュリティロックケース (抜き取り防止機能付きケース) を

使用し、ロックケース解除機能付き自動貸出機を、他の自治体に先駆けて導入すべく、検討を進めている。

対象	区内公共図書館および図書関連施設	
実施計画	平成22年度	ICタグ貼付作業
	平成23年度	ICタグ貼付作業
		ICタグシステム導入

(26)池波正太郎記念文庫開設10周年記念(P.329)

300万円

(中央図書館)

開設10周年を迎えるにあたり、池波正太郎氏とゆかりの深い但馬一憲氏の写真展や時代小説作家による講演会等を開催する。本事業を通じて池波正太郎氏の業績を称えとともに、その作品の魅力を区内外に広くPRする。

事業内容

写真展の開催

ゆかりの作家による講演会の開催

新規池波グッズの作成

展示品リニューアル

実施予定日時・場所

写真展 平成23年6月

生涯学習センターアトリウム

講演会 平成23年9月

生涯学習センターミレニアムホール

(27)少年野球場グラウンド拡張等整備 (P.335)

1億3,930万円

(青少年・スポーツ課)

台東リバーサイドスポーツセンター少年野球場は、昭和49年10月の開設から35年が経過し、フェンスの老朽化が進んでいる。

これに対応するため、老朽化したフェンス改修をするとともに、子どもたちが安全で安心してのびのびとスポーツができるよう、3塁側及び外野部分のグラウンド拡張整備を実施しスポーツ施設の充実を図る。

改修工事期間

平成23年1月下旬～平成23年10月下旬(予定)

(既存フェンス解体工事は、平成23年1月～平成23年3月に実施)

リニューアルオープン 平成23年11月(予定)

所在地 浅草7丁目1番22号

敷地面積 現状 約3,600m²

拡張後 約4,800m²(約1,200m²増)